

人口の地域間移動の概況

1. 人口増加の鈍化は昨年が底？

県統計課では先に、茨城県常住人口調査の昭和59年結果報告書として「昭和59年茨城県の人口」を刊行したが、本調査による茨城県の人口は、昨年中に25,874人増加して今年1月1日現在で2,698,165人となり、3月1日現在で270万人に達している。

また昨年は、6月1日現在で勝田市が本県としては4番目の10万都市の仲間入りをし、8月には稲敷郡牛久町が5万人に達している。同町では今年10月1日現在で実施される国勢調査結果を待って、市制を施行すべく準備中とのことである。

ところが昨年の本県人口増加は、報告書でもふれたが、前年に比べて大幅に減少した昭和58年をさらに大きく下回り、2年続いての大幅な鈍化となった。これは自然増加が微減にとどまったのに対し、社会増加が大幅に少なくなり、1万人を割り込んだためである。もしもこのまま鈍化が進むと仮定すれば、社会動態は2年後にマイナスにおちいる計算になる。

しかし、昨年の傾向をより細かく見るために、一方法として対前年同月比人口増加数で示すと、図一のとおり、9、10月を底としてわずかではあるが回復してきており、(図には出ていないが)社会増加も同様に増大に転じている。

これが今後どう推移するかはなんとも言えないが、もしこの傾向が持続すれば、鈍化は一応昭和59年に底を突いたことになる。

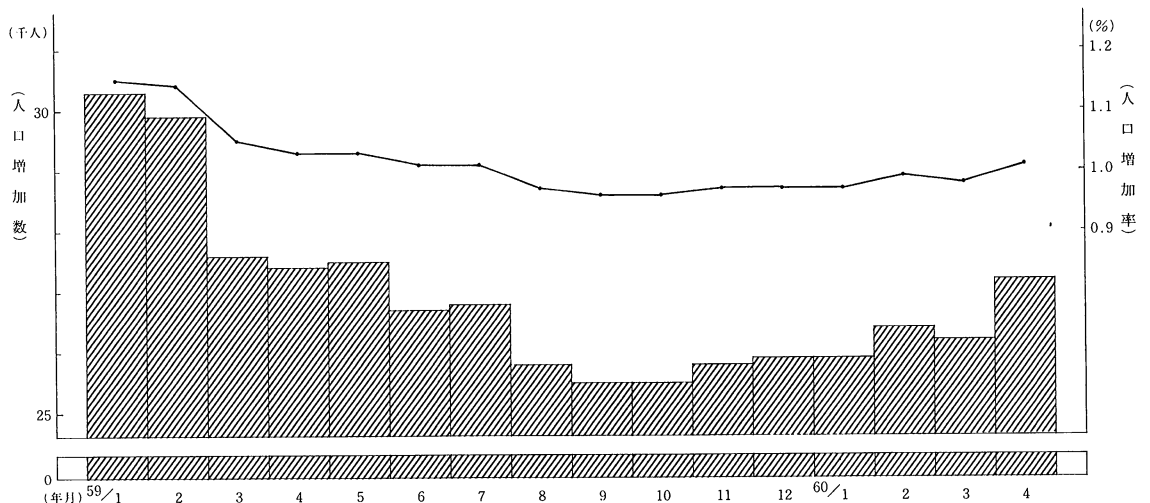
ところで本誌昨年8月号では、こうした人口増加の鈍化が主として県外、それも首都圏からの転入者の減少によることを述べたが、今回は視点を変えて、人口の地域間移動の構造はどうであるかを若干見てみたい。

2. 移動構造が対照的な県南VS県北平坦地域

市町村・都道府県間O-D表(県内市町村・県外都道府県間転入・転出者数, 昭和59年報告書では第9~11表)の集計は電算集計移行後なので、昭和56年(正確には昭和55年10月)以後の4年間しか完全なデータが得られない。ために時系列の変化を見るには短すぎるが、それでもある程度の傾向は現れるかもしれない。

まず図一2であるが、県内五地域別に転入・転出者数をそれぞれ県内・県外別に分けて、社会増加のピークが始まった昭和53年から昨年までを時系列にとったものである。見づらい図になったが、転入者数では、県南地域の県外は特別として、その他では県北平坦県外、県南県内、県西県外にある程度の動きがあるものの、また転出者数では県南、県北平坦県外がそうだが、その他は比較的横ばいあるいは方向が一定であるものが多い。しかも、転出者数の県西地域は

図一 対前年同月比人口増加数(率)の推移 — 茨城県 —



茨城県常住人口調査結果から

異なっているが、県外との移動(太線)よりは県内他地域との移動(細線)の方が横ばいに近くなっている。大づかみな表現だが、五地域という範囲でも人口の移動はおおむねある傾向性を示し得ているようである。

さて前置きはこのへんにして、昭和56年以後4年間の地域間移動を県内と、県外は隣接県との状況を主として、表一によってみてみたい。本表では数値を単純化するために、移動数が一つの重要なファクターであることを承知のうえで度外視し、転入・転出者数の差、つまり純増減数一本にしばった。このためのはずれな点が出てくるかもしれないがご容赦いただきたい。

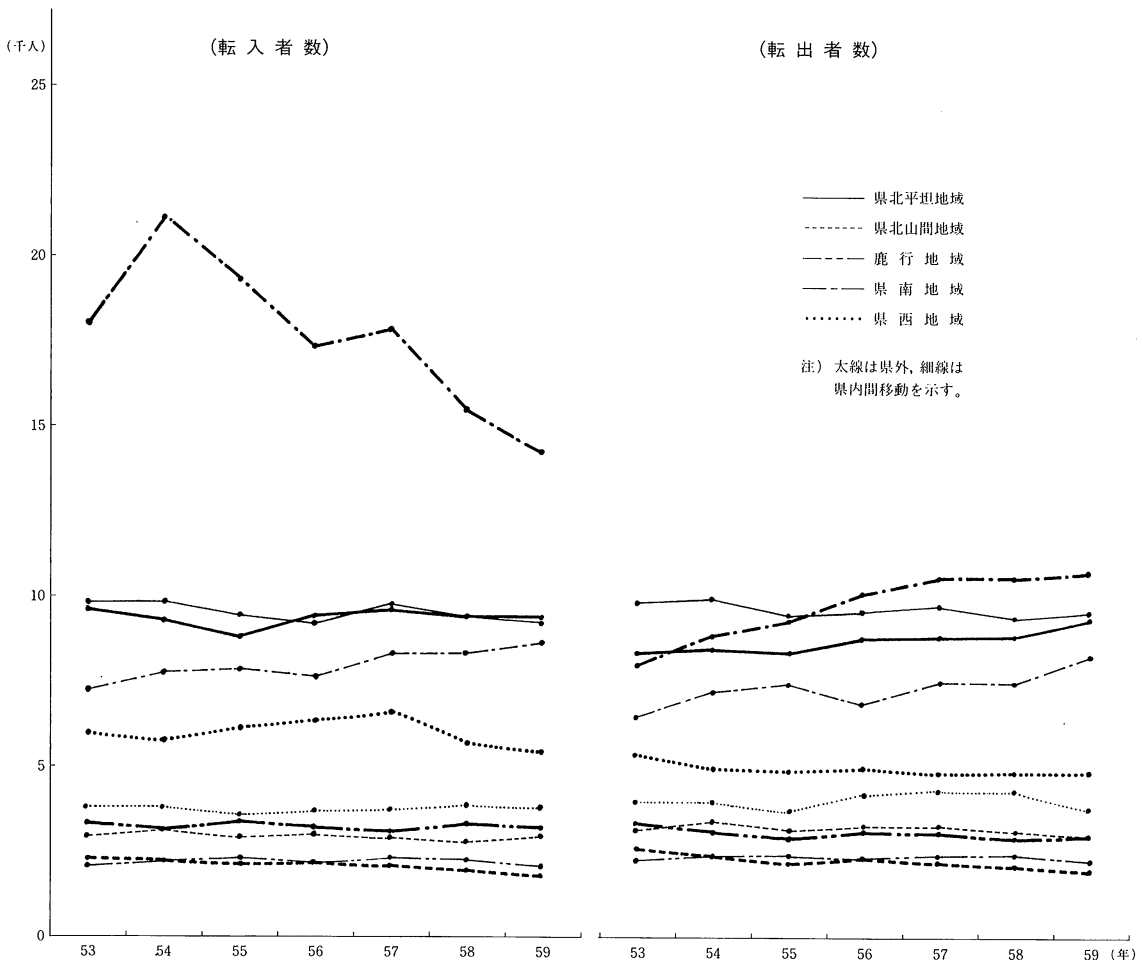
(1) 県北平坦地域

昭和58年までは全域で1,000人前後の社会増加数があったが、昨年はわずかではあるが減少に転じている。これは県内他地域とはそれまでほぼ増減なしであったものが減少が多くなり、県外とでも1,000人前後増加していたのがこれもほぼ増減なしとなったためである。

県内との増減数を地域別にみると、県南地域以外の他三地域に対してはわずかではあるがおおむね増加を示しているのに対し、県南地域に対してはほぼその分減少となっている。

一方県外とは、千葉県、東京都、神奈川県に対して大

図一2 地域、県外・県内別転入・転出者数 (昭和53~59年)



■ 調査から

幅な減少となり、それが年ごとに強まってきている。逆にその他の県からは(隣接県でも福島、栃木県も同様だが)大幅に増加していたが、それも低下傾向を示している。

つまり県北平坦地域は、首都圏や県南地域といったより都市化された地域に人口が流出し、それ以外の地域からそれ以上に流入していたが、ここ数年流出は多く流入は少なくなってきている。

(2) 県北山間地域

社会動態は依然減少を続けているが、ほぼ増減なしに近づいてきている。県内間では減少が少なくなりつつあり、県外とでも減少は多くなってはいない。

県内他地域とをみると、県南地域に対してははっきりと減少を示し、県西地域に対しても若干だが減少している。しかし隣接する県北平坦地域に対しては、年により

違いはあるが、平均するとほぼ増減なしに近く、報告書でもふれたが、日常抱く感じとは異なる数値を示している。県外とでは、千葉県、東京都に対しては減少しており、その他に対しては若干増加しているものの数は少ない。

県北山間地域の流入・流出のパターンは、県北平坦地域に類似しているが、流入があまり強くみられないようである。

(3) 鹿行地域

社会動態は横ばいに近いが、強いて言うなら現在のところわずかに増加状態にある。県外とでは若干増加しており、ふれがあってはっきりした傾向がみられない。一方県内とでは減少しており、それが大きくなりつつある。

県内他地域とをみると、県北山間地域、県西地域に対してはほとんど増減がないが、隣接する県北平坦地域、

表一 1 地域別県内他地域及び隣接県との社会増減数

地 域	年	社会増加数	県 内 他 地 域 と の 増 減 数					
			県 内 計	県北平坦地域	県北山間地域	鹿行地域	県南地域	県西地域
県北平坦地域	56	789	△450	—	△ 41	14	△509	86
	57	1,750	97	—	110	123	△308	172
	58	1,248	53	—	154	219	△380	60
	59	△811	△561	—	△159	161	△536	△ 27
県北山間地域	56	△370	△148	41	—	9	△142	△ 56
	57	△565	△368	△110	—	△ 20	△184	△ 54
	58	△560	△264	△154	—	16	△125	△ 1
	59	△208	△ 67	159	—	△ 44	△125	△ 57
鹿行地域	56	346	△ 87	△ 14	△ 9	—	△104	40
	57	△ 13	△168	△123	20	—	△ 82	17
	58	338	△417	△219	△ 16	—	△197	15
	59	△ 78	△352	△161	44	—	△200	△ 35
県南地域	56	15,757	1,578	509	142	104	—	823
	57	16,027	1,559	308	184	82	—	985
	58	11,398	1,589	380	125	197	—	887
	59	7,929	956	536	125	200	—	95
県西地域	56	1,745	△893	△ 86	56	△ 40	△823	—
	57	2,015	△1,120	△172	54	△ 17	△985	—
	58	775	△961	△ 60	1	△ 15	△887	—
	59	1,204	24	27	57	35	△ 95	—

注) 本表では、転入・転出者のうち「その他」を含めず、また県内間移動者は転入ベースでとらえているため、報告書の数値とは若干異なっている。

県南地域に対してはいずれも減少が多くなっている。

一方県外とでは、千葉県に対しては増加しているが、東京都、神奈川県に対しては減少している。その他の県からはこれを上回る増加があるが、福島、栃木、埼玉県に対してはかなりの年で減少を示していることから、その他の県に対しても増加と減少が地域的にかたよっていることも予想される。

鹿行地域も一部県北平坦地域と共通する構造が見られるが、4年間のデータはかなりの跛行性があり、全体として増加きみという以外の傾向性は見出し難いようである。

(4) 県南地域

毎年の報告書でも言及しているように、県内五地域中最も社会増加率が高く、また社会増加数も県全体の過半

数を占めている。

その増加数も県内他地域からの割合はわずかであり、大部分は県外から、しかも上記三地域とは全く異なり、埼玉、千葉県、東京都、神奈川県からが圧倒的に多く、首都圏人口増加の受皿となっている。しかし、昭和57年からは増加数が年ごとに少なくなり、3年間で埼玉、千葉、神奈川県からは $\frac{1}{2}$ 以下、東京都からは実に $\frac{1}{3}$ 以下になっている。

一方、県内とでは他四地域に対しすべて増加しており、県北平坦地域に対しては増大する傾向を示している。しかし昨年は県西地域からの増加がほとんど無くなったためかなり少なくなっている。

県南地域は、県北平坦地域とは対照的に、傾向は弱まっているものの首都圏からの流入が大半を占め、その他の県外及び県内他地域からも流入し、首都圏人口増加の

(単位：人)

県外計	県外隣接県との増減数						
	福島県	栃木県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	その他の県
1,239	140	121	226	△ 54	△ 39	227	550
1,653	434	193	5	△140	△446	150	1,457
1,195	348	119	△106	△ 26	△370	△122	1,354
△250	44	△ 31	16	△386	△630	△338	1,075
△222	22	△131	6	△ 50	△123	△ 19	65
△197	△ 8	3	33	△ 62	△224	11	56
△296	△ 63	14	6	△ 21	△326	2	92
△141	48	△ 28	35	△ 81	△186	36	34
433	△ 39	39	94	46	△ 50	34	316
155	△ 14	△ 43	△ 8	122	△ 32	△ 71	206
755	△ 12	—	12	35	△ 98	△ 48	866
274	△ 19	△ 18	△ 34	55	△ 45	△ 97	437
14,179	146	41	1,590	3,165	5,673	2,300	1,264
14,468	△ 47	85	1,568	3,719	5,229	2,233	1,681
9,809	55	12	797	2,292	3,154	1,657	1,842
6,973	215	49	756	1,390	1,712	954	1,897
2,638	40	184	999	245	602	413	155
3,135	72	217	1,136	244	856	373	237
1,736	21	293	598	155	188	244	237
1,180	11	△ 1	478	△ 58	124	102	524

